すこやかな妊娠・出産のため、妊娠中の歯科健診を受けましょう



歯周病は、早産や低体重児出産を引き起こす原因の一つになっています。
歯周病とは、文字通り「歯の周りの病気」です。歯肉の炎症による出血、腫れを特徴とする歯肉炎と、歯を支えている骨（歯槽骨）が破壊される歯周炎に分けられます。初期の歯周病には、痛みなどの自覚症状がほとんどありません。そのため、気が付いた時にはすでに進行していることが多い怖い病気なのです！

歯周病が早産に影響するのはなぜ？

口の中に歯周病菌が増えると、血液中にサイトカインという情報伝達物質が出されます。ところが、妊婦の体内で血中サイトカイン濃度が高まると、子宮筋を収縮させるスイッチが間違って入り、「出産のゴーサイン」とみなされて早産を引き起こすのです。

早産とは赤ちゃんが早すぎる時期に、しかも小さすぎる状態で生まれてくることです。そのような赤ちゃんには、きちんと呼吸できなかったり、脳に障害があったり、目がよく見えなかったりといった様々な病気にかかる危険性があるのです。



妊娠中に口腔内の状況が悪化しやすくなる原因とは？

女性ホルモン分泌の増加、食生活・ライフスタイルの乱れ、つわりによる口腔清掃困難といった理由から、妊娠中は女性の一生の中でも口腔内のトラブルを起こしやすい時期なのです。

母親の口腔内環境が悪いと赤ちゃんの口腔内環境も悪化しやすい！

歯周病も虫歯も口の中の菌の仕業で起こります。お母さんと生まれた赤ちゃんはずっと一緒に生活しますから、お母さんの口の中の菌は赤ちゃんの口の中に感染していきやすいのです。



日頃から口腔衛生に注意し、
早産（低体重児出産）を防ぐためにも、
また生まれてくる赤ちゃんのお口の健康のためにも、
妊娠したら早めに歯科を受診しましょう！

熊本県・熊本県歯科医師会

熊本型早産予防対策事業 熊本県子ども未来課

歯周病の自己チェックをしましょう
～歯周病が早産の原因に！？～

